



コルスンスキー駐日大使（左）に支援金を手渡す松原市長

ウクライナ大使館などへ支援金約143万円を贈る

6月29日、市役所を訪れたセルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ大使らに松原俊雄市長からウクライナからの避難民への支援金約143万円を贈った。

市では5月7日、にえきまえ広場などでチャリティーイベント「ウクライナ×こまえ 気持ちつなぐDAY」を開催。ウクライナから避難してきたドウバシユ・マリアさんが本場のボルシチ約500食を振る舞うなど大きな反響を呼び、来場者などから約113万円の支援金が寄せられた。このほかに、市へ寄せられたウクライナ支援の募金約30万円を合わせてウクライナ大使館と日本ウクライナ友好協会に贈ることにした。

この日は、マリアさんと市内在住で日本ウクライナ友好協会副理事長を務める娘のリセンコ・ナタリアさんも市役所を訪れ、笑顔を見せながら感謝の言葉を述べていた。

七夕飾りに世界平和やコロナ終息祈る



様々な願いをかけた絵手紙をつるした七夕飾りが6月27日、から7月7日、まで市役所2階ロビーに展示された。

6月30日にはロビーで絵手紙ひろばが催され、参加した16人が「絵手紙発祥の地ー狛江」実行委員会委員の指導で短冊に思いを込めて絵や文字をかけた後、長さ約1mから約3mの笹竹に飾った。笹竹には実行委員会委員などの短冊もあり、約300枚が初夏の訪れ



絵手紙ひろばで短冊をかく参加者

を告げていた。短冊には、ヒマワリやトマトなどの絵のほか、世界平和や新型コロナウイルス感染症の終息を祈るものもあった。

11日にかわせみコンサート ウクライナの平和を訴え

「ウクライナに平和を」チャリティーコンサートが11日、午後2時から谷戸橋地区センターで開催される。市内在住の青木カナさんらのバンド「グループ・カウディラダ」が出演、ラテンミュージックに加え「キエフの鳥の歌」などウクライナの曲も演奏する。

5月に催された狛江市のチャリティーイベント「ウクライナ×こまえ 気持ちつなぐDAY」に触発され、谷戸橋地区センター運営協議会とかわせみコンサート実行委員会がかわせみコンサートの特別企画として催すもの。

当日は、ウクライナの人も参加、一緒に生演奏を楽しむ。参加は無料で、会場で支援金の募集を行う。

問い合わせ ☎080-1282-8166 神原さん。

前・五小校長の創作紙芝居 5日～11日に原画展を開催

狛江第五小学校前校長で狛江市教育委員会非常勤職員の石谷清隆さんが校長時代に描いた紙芝居の原画展が5日、から11日、まで泉の森会館で開かれる。

展示するのは平成31年に新入学児童に向けて筆ペンと水彩絵の具で描いたA4判14枚の紙芝居「犬のモモタロウ」の原画とストーリーの紹介文。

石谷さんは狛江に領地があった旗本の石谷家17代目の当主で、澁



紙芝居と石谷さん

谷区、世田谷区の小学校へ教諭、副校長、校長として赴任、平成29年から退職する令和3年まで五小の校長を務めた。校長時代は毎年、新入生に友達作りに役立つ絵巻やペーパーサート、紙芝居を創作、入学式で子どもたちに披露してきた。

子ども時代から絵が好きで、美術大学を目指したこともある石谷さんの作品は子どもたちに人気だったという。

展示する紙芝居は、ひとりぼっちのなかにいばっていた犬のモモタロウが、森に住み、他の動物の支えで生活できるようになった。森が火事になり、友達の動物たちと助け合い消火して守るというストーリーで、学校の楽しさや友達の大切さを伝えている。

展示は、泉の森会館が夏休みの子ども向けに毎年催している「カフェギャラリーウィーク」の一環として企画された。展示は午前11時から午後5時で入場無料。

問い合わせ ☎5497-5444 泉の森会館。

狛江駅自由通路で野菜即売 認知度アップめざし夕方に

旬の枝豆をはじめ狛江産の野菜の即売が6月28日、と30日、の夕方に狛江駅の自由通路で行われた。

安心で安全な野菜作りに取り組んでいる狛江GAP研究会に所属する農家がトマト、キュウリ、ナスなど採れたての夏野菜10種類以



狛江駅自由通路で夏野菜を即売

上を販売した。野菜の即売はこれまで昼間に行われてきたが、日中働いている会社員などに狛江の野菜を知ってもらおうと「狛江ブランド農産物認知度拡大キャンペーン」として初めて行った。勤め帰りの会社員などに人気で、両日とも30分ほどで売り切れた。

8・9月に泉の森テラス 竹林ライトアップやライブ

泉の森友の会が8月5日、～9月30日、の金・土・日曜日と祝日に「泉の森テラス」を開催する。狛江駅北口の同館南東側のふれあい側道で午後5時30分から弁財天池特別緑地保全地区の竹林をライトアップし、食事や酒類を提供する。



8月は11日、と14日、の午後5時30分から泉の森占、12日、の午後6時30分から永井由里バイオリンライブ、13日、の午後6時30分からTSUBOKENサックスライブを催す。詳しくは「泉の森テラス」で検索。

こまえくぼ 1234 からのお便り

おもいをカタチに

こまえくぼ1234が市民、市民活動団体を対象に主催、共催する事業

■聞こえない人とZoomでおしゃべりしてみよう2022

①7日、②14日、③17日、の午後2時30分～3時30分、こまえくぼ1234、市内在住の小学生～大学生、各回2人、事前

■見えない人の世界を知ろう

①20日、②10月15日、③22日、④11月21日、の午前10時～正午、こまえくぼ1234。視覚障がいの人と話をしたり、誘導の仕方や点字について学ぶ、①市内在住の小学生～高校生（小学

狛江市市民活動支援センター（こまえくぼ1234）

〒201-0003 狛江市和泉本町1-2-34 ☎5761-5556 FAX5761-5033 M info@vc.komae.org 開館時間 午前10時～午後5時 休館日＝火曜日、祝日、年末年始

秋季テニス教室参加者募集

スポーツ

ソウルオリンピック日本代表のプロテニスコーチ倉光哲さんが指導して9月と10月に元和泉市民テニスコートで催すジュニアとシニアの秋季テニス教室の参加者を、狛江市硬式テニス協会（山口清会長）が募集している。



テニス教室の参加者（令和元年）

同会は硬式テニスの普及と技術向上などを目的に毎年、春と秋に大会を開くほか、市民テニス大会の運営も担当している。普及活動の一環として、東京都や狛江市体育協会が主催するテニス教室の運営を、ジュニアは平成22年～令和元年、シニアは平成26～28年に担当し好評だったが、コロナ禍などの理由で開催を中断していた。

ことし10回目となるジュニア教室は9月3日、④4日、（予備日11日、）午前10時～正午に開催。対象は小学3～6年生の初心者で定員40人。レンタルラケットも用意する。シニア教室は10月11日、④12日、（予備日14日、）対象は60歳以上の狛江市民で定員25人（会員は優先受け付け）。いずれも参加無料で、基本を中心に指導し、2日目には試合も行う。

申し込みは、ジュニアは8日、まで、シニアは9月1日、～8日、に市内の各テニスコート・体育館などで配布する申込用紙に必要事項を記入してファックス（FAX3480-6211）で狛江市体育協会へ。いずれも応募多数の場合抽選。なお、新型コロナウイルス感染症の影響で中止される場合がある。

問い合わせ ☎080-4004-2379 M sakuyura@ozzio.jp 狛江市硬式テニス協会 山口さん。

ここに掲載している情報についてはこまえくぼ1234へお問い合わせください。

生低学年は要付添) ②・③市内在住・在学・在勤者各回10人

■親子で学ぶ狛江の防災～多摩川の水害から学ぼう～

27日、の午前10時～正午、狛江消防署。ハザードマップの活用方法、災害時に活躍する消防車両の乗車体験を通じ災害について考える、④市内在住の小学生と保護者各10組（最大24人）

フリースペースイベント

フリースペースで行われる参加できるプログラム

■おりがみサロン

3日、の午後1時～3時。折り紙でボランティア活動、交流

■まえちゃんのびあ「みんなの空展」

4日、の正午まで。セルフヘルプ

グループのメンバーが描いた作品の展示

■切手カフェ

12日、④19日、の午後1時～3時。古切手の整理。古切手の収益をボランティア事業に使用

ボランティア募集

■電動車イスで通学する男子高校生の見守りボランティア募集

土曜日（月1回程度）、市内及び近隣。男子高校生が部活で登下校する時の見守りと必要な手伝い。 ※詳細は問合わせ

今月のこまえくぼ

休館日＝2日、④9日、④11日、④16日、④23日、④30日、

